

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人アクションポート横浜	
	行政	横浜市市民局市民活動支援課	
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する		
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること		
役割及び責任分担等	事業項目	特定非営利活動法人 アクションポートの役割	横浜市の役割
	相談窓口の設置 に関すること	1 窓口設置場所の提供	1 窓口の設置に関する調整及び協力
	相談窓口の運営 に関すること	1 相談窓口の運営 2 市民公益活動等に関する相談対応	1 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 2 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力
	事業の広報に関する こと	1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力	1 事業実施にかかる情報の発信
実施期間	平成 25 年 11 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで		

記入日	26 年 6 月 30 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人アクションポート横浜 ・記入責任者 氏名： 高城芳之 連絡先： 045-662-4395
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 市民局市民協働推進部 市民活動支援課 ・記入責任者 氏名： 和田 真平 連絡先： 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行います。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		アクションポート横浜	横浜市
1	話し合いを通じて、事業の目的や方法などについて理解することができましたか。	C	B
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	B	A

②事業実施段階

		アクションポート横浜	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	C	A
2	相手に任せっきりせず、お互いが役割を自覚して取り組むことができましたか。	B	A
3	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	D	B
4	事業の広報などについて、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	D	B
5	事業を進めるうえで問題等が発生した際に話し合い、解決することができたか。	A	B

③ふりかえり段階

		アクションポート横浜	横浜市
1	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	C	C
2	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	B	B
3	期待された事業成果を得られることができたか。	D	B

自由記入欄

<アクションポート横浜>

平成25年度の「市民活動支援・相談窓口事業」において、市民から当法人への相談はなかった。初年度であったので事業の認知もまだ広まっていないが、広報などの情報発信力に不足が感じられた。これについては、広報をする際に相談窓口についての具体的なイメージが対象者へ伝わっていなかったのではないと思われる。また、初年度の情報発信の効果を詳しく振り返ることで、届くべき対象の元へ情報が届いていたのかという点や、相談対象者と考えられる団体個人が具体的にどのようなことで悩みを抱えているのかといったニーズをあらかじめ検証することで、より事業目的に即した広報や窓口運営を整えていくことが次年度以降の課題であると感じる。

<横浜市>

相互チェックシートに基づき、主に相互の評価にかい離が見られる部分について改めて話し合いを行いました。事業そのものの認知度の向上などを図るような広報の作成や、その他必要と考えられるパンナーなどのウェブツールの作成、事業の紹介元となる（区版）市民活動支援センターとの連携など、事業をより推進するための方策を次年度に検討・実施します。

民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人コロンブスアカデミー	
	行政	横浜市市民局市民活動支援課	
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する		
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること		
役割及び責任分担等	事業項目	特定非営利活動法人コロンブスアカデミーの役割	横浜市の役割
	相談窓口の設置に関すること	1 窓口設置場所の提供	1 窓口の設置に関する調整及び協力
	相談窓口の運営に関すること	1 相談窓口の運営 2 市民公益活動等に関する相談対応	1 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 2 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力
	事業の広報に関すること	1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力	1 事業実施にかかる情報の発信
実施期間	平成 25 年 11 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで		

記入日	26 年 6 月 30 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人コロンブスアカデミー ・記入責任者 氏名： 福島 恭子 連絡先： 045-761-0167
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 市民局市民協働推進部 市民活動支援課 ・記入責任者 氏名： 和田 真平 連絡先： 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行います。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		コロンブスアカデミー	横浜市
1	話し合いを通じて、事業の目的や方法などについて理解することができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	A

②事業実施段階

		コロンブスアカデミー	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	相手に任せきりにせず、お互いが役割を自覚して取り組むことができましたか。	A	B
3	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	B	B
4	事業の広報などについて、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	A
5	事業を進めるうえで問題等が発生した際に話し合い、解決することができたか。	B	B

③ふりかえり段階

		コロンブスアカデミー	横浜市
1	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
2	期待された事業成果を得られることができたか。	B	B

自由記入欄

<コロンブスアカデミー>

まだ始めたばかりの事業なので、今年度は実際に相談を受けることは少なく、事業の趣旨や相談窓口の周知をはかるという作業が多かったが、お互いに必要な事業として認識し、協働して事業を進めることができ、次年度の本格実施に向けての準備が整ったという成果があった。

<横浜市>

平成25年度事業終了時に話し合いを行い、それぞれが今年度行ったことや事業を進めていくうえで難しかった点、今後、事業の目的をより推進するために必要な事項などを確認しました。次年度は、より多くの方々に事業を認知していただき、相談件数が増えるような広報の作成や事業の紹介元となる（区版）市民活動支援センターとの連携などを進めていくこととしました。

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人さくらんぼ	
	行政	横浜市市民局市民活動支援課	
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する		
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること		
役割及び責任分担等	事業項目	特定非営利活動法人 さくらんぼの役割	横浜市の役割
	相談窓口の設置に関すること	1 窓口設置場所の提供	1 窓口の設置に関する調整及び協力
	相談窓口の運営に関すること	1 相談窓口の運営 2 市民公益活動等に関する相談対応	1 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 2 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力
	事業の広報に関すること	1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力	1 事業実施にかかる情報の発信
実施期間	平成 25 年 11 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで		

記入日	平成 26 年 6 月 25 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名：特定非営利活動法人さくらんぼ ・記入責任者 氏名：理事長 伊藤保子 連絡先：045-367-7224
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名：市民局市民協働推進部 市民活動支援課 ・記入責任者 氏名：和田 真平 連絡先：045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができていたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、評価をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		さくらんぼ	横浜市
1	話し合いを通じて、事業の目的や方法などについて理解することができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	A

②事業実施段階

		さくらんぼ	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	B	A
2	相手に任せっきりせず、お互いが役割を自覚して取り組むことができましたか。	A	B
3	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	C	B
4	事業の広報などについて、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	A
5	事業を進めるうえで問題等が発生した際に話し合い、解決することができたか。	B	B

③ふりかえり段階

		さくらんぼ	横浜市
1	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	B	A
2	期待された事業成果を得られることができたか。	B	B

自由記入欄
<p><さくらんぼ></p> <p>談者への情報提供を行う際に、関連部署に問い合わせをしたが、本事業を認知していないことがあった。次年度以降、各法人の事業に関連している部署への事業周知を行うことの検討が必要であると感じている。</p> <p><横浜市></p> <p>事業終了後に話し合いを行い、市役所内部における事業周知のあり方に課題があることを確認しました。次年度は、事業そのものの認知度の向上を図るような広報の作成や、(区版)市民活動支援センターなどの関連部署を巻き込んだ事業展開を図るだけでなく、市役所内部における事業周知策についても検討し、実施します。</p>

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業	
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人市民セクターよこはま
	行政	横浜市市民局市民活動支援課
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する	
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること	
役割及び責任分担等	事業項目	特定非営利活動法人 市民セクターよこはまの役割
	相談窓口の設置に関すること	1 窓口設置場所の提供
	相談窓口の運営に関すること	1 相談窓口の運営 2 市民公益活動等に関する相談対応
	事業の広報に関すること	1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力
	市民局の役割	
	1 窓口の設置に関する調整及び協力	
	1 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 2 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力	
	1 事業実施にかかる情報の発信	
実施期間	平成 25 年 11 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで	

記入日	26 年 6 月 30 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま ・記入責任者 氏名： 吉原 明香 連絡先：
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 市民局市民協働推進部 市民活動支援課 ・記入責任者 氏名： 和田 真平 連絡先： 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができていたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		市民セクターよ こはま	横浜市
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	B	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合っよく理解することができましたか。	B	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合っ決めてことができましたか。	C	B
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合っ役割分担を決めることができましたか。	B	A
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合っよく理解することができましたか。	A	A

②事業実施段階

		市民セクターよ こはま	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	A	B
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	B	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	B	B
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	C	A
6	事業終了後の見通しについて、話し合っ取り組むことができましたか。	B	A
7	事業についてホームページ等の広報媒体を使って市民に発信することができましたか。	A	A

③ふりかえり段階

		市民セクターよ こはま	横浜市
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合っ共有できたか。	B	B
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	B	B
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合っ、確認する事ができたか。	A	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	C	B

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 ・事業についてどの程度の段階から話し合うことができ、変更することができるのか等について、双方の認識に違いがあった。
【今後改善が必要と思われること】 ・早い段階で振り返りを行う機会（意見交換会等）の場を作ること
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 ・今後、事業を推進していくにあたって必要なこと（情報交換の機会づくりや、相談件数を増やす仕組みづくりなど）についてお互いに共有できた。
【今後改善が必要と思われること】 ・具体的な相談件数を増やすための仕組みづくり ・受託する法人同士が情報交換できるような機会づくり
事業の成果 (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
・協働で事業を実施したことで、法人が持っているネットワークや独自のノウハウを活かすことができ、行政が単独で実施するよりも質の高い相談窓口を開設することができたと考えている。 ・件数そのものは少なかったものの、相談窓口事業となった法人に対して気軽に紹介できる環境を作ることができたと考えている。
自由記入欄
・様々な人に利用してもらうため、双方の組織内部での事業の周知を行う必要であると感じた。 ・本事業について、長期的な視野を持って、どのような方向性で進めていくかを考える必要があると感じた。 ・事業を受託している法人全体で、行政とともに、事業改善について議論する場を設ける必要があるのではないかと。

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ樹	
	行政	横浜市市民局市民活動支援課	
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する		
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること		
役割及び責任分担等	事業項目	特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ樹の役割	横浜市の役割
	相談窓口の設置に関すること	1 窓口設置場所の提供	1 窓口の設置に関する調整及び協力
	相談窓口の運営に関すること	1 相談窓口の運営 2 市民公益活動等に関する相談対応	1 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 2 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力
	事業の広報に関すること	1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力	1 事業実施にかかる情報の発信
実施期間	平成 25 年 11 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで		

記入日	26 年 6 月 30 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ樹 ・記入責任者 氏名： 事務局長 建石 比奈子 連絡先： 045-776-2802
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 市民局市民協働推進部 市民活動支援課 ・記入責任者 氏名： 和田 真平 連絡先： 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができていたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、評価をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		ワーカーズ・コレクティブ樹	横浜市
1	話し合いを通じて、事業の目的や方法などについて理解することができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	A

②事業実施段階

		ワーカーズ・コレクティブ樹	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	相手に任せっきりせず、お互いが役割を自覚して取り組むことができましたか。	A	B
3	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	B
4	事業の広報などについて、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	A
5	事業を進めるうえで問題等が発生した際に話し合い、解決することができたか。	B	B

③ふりかえり段階

		ワーカーズ・コレクティブ樹	行政
1	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
2	期待された事業成果を得られることができたか。	B	B

自由記入欄

<ワーカーズ・コレクティブ樹>

指定NPOの指定をいただいたのをきっかけに、協働事業へのお声をかけていただき、大変光栄に思っています。残念ながら、お問い合わせはありませんでしたが、市民局のかたと事業についていろいろと話し合いができ、これからが楽しみです。

<横浜市>

平成25年度事業終了時に今後、相談件数が増加するためにどのようなことが必要か話し合いました。

話し合いの結果必要であると共有した、より多くの方々に事業を認知していただきけるような広報の作成や、事業の紹介元となる（区版）市民活動支援センターとの連携などを次年度に進めます。